

114
A 1943



酒税増加反対意見

所謂戦后經營ノ爲メニ財政上ノ欠乏ヲ生シ之ヲ填補スルニ酒税増加ヲ以テセ
ントスルノ議アリト聞ク由リテ茲ニ其不法不利ナルヲ論述シ以テ其反省ヲ乞ハントス

第一 財政上

マテ論争ヲ許サ、ルノ事ナリ然ルニ酒類ヲ以テ課税物件トセル如キハ此ノ理法ニ反スル者ナ
リ何トナレハ三井岩崎ノ如キ富豪輩ガ酒類ヲ消費スルモ労働者ガ之ヲ消費スルモ其負担同一
ナレハナリ而シテ世ノ實際ヲ看察スレハ労働者ノ消費スル所三井岩崎ノ消費スル所ヨリモ遙
多額ナリ何トナレハ酒類ヲ飲用スルコトハ労働者ガ受クヘキ第一ノ快樂ナレハナリ故ニ消費
税ヲ増加スルハ之レ富者ヲ益シテ労働者ヲ虐クル者ニシテ賢明ナル政府ノ採ル可キ財政策ニ
ニアラサルナリ而シテ吾邦ノ財政策如何ト願ミルニ明治二十八年ニ於テハ直接税ト消費税
ノ割合ハ十二對スル七ナリシナリ然ルニ第九議會ハ之ヲ變シテ殆ント全額トナラシメタリ而
シテ今マテ清酒ノ税率ヲ七圓ヨリ十圓ニ増加セントスルハ之レ直接税ト消費税ノ割合ヲ十二
對スル十二トナサントスルモノナリ即チ之レ富者ニ媚ヒテ貧者ヲ壓セントスルモノナリ故ニ
之ヲ以テ公平ノ原則ニ反スト斷言スルヲ憚ラズ

(二) 歳入増額ノ見込ナシ 酒税ヲ増加スルハ不法ナルヤ否ハ暫ク之ヲ措キ事ノ實際ニ
於テ果シテ國ノ歳入ヲ増加スルノ見込アリヤ如何ト願ミルニ其結果トシテハ后チニ述ブルガ
如ク「アルコール」ノ輸入ヲ奨励シ犯罪ヲ誘起シ不正者ヲ益シ正業者ヲ苦シメ遂ニ造石數ヲ
減スルコトナル可ケレハ更ニ國家ノ歳入ヲ増加スルコトナシ故ニ此ノ如キ財政策ハ國家ニ不利
ナリト斷言スルヲ憚ラズ

第二 政治上

(一) 社會問題ヲ誘起セシム 世ノ大勢ハ常ニ進歩ニ在リト雖モ「ヘンリー、ジョージ」
ノ所謂「プログレッシブス、エント、ポバァーチー」ニシテ貧富ノ懸隔日チ追フテ益甚シ故ニ今日
歐米ノ天地ニ於テハ或ハ無政府黨ヲ生シ或ハ社會黨ヲ生シ或ハ労働者ノ「ストライキ」トナ
リ或ハ帝王宰相ノ暗殺トナル等誠ニ目出度カラル出來事少カラズ而シテ吾邦ハ如何ト願ミル
ニ近年ニ至リ社會問題ヲ研究スル者少カラスト雖モ未ダ歐米ノ天地ノ慘憺タルノ比ニアラズ
上下相和シ春風騷蕩タルノ看アリ然ニ戰勝國光譽アル大日本帝國戦后經營ノ美名ヲ籍リテ俄
然消費税ノミヲ増加シ以テ貧者ヲ壓セントスルハ之レ上ヨリシテ求メテ上下ノ平和ヲ破リ益
社會問題ヲ誘起スルモノニ非ラズシテ何ンゾ嗚呼之レ實ニ策ノ得タル者ニアラズ

(二) 自家用料酒ヲ禁止スルハ不法ナリ 政府ハ酒税ヲ増加シ其實收入ヲ増加セン
ガ爲メニ自家用料酒ヲ禁止スルノ見込ナリト傳フ然レトモ之レ政府ノ爲シ能フ所ニアラズ政
府ハ有限ノ官吏ヲ使用シテ如何ゾ之ヲ嚴禁スルヲ得ンヤ然カモ若シ多數ノ官吏ヲ使役シテ之
ヲ取締ラハ或ハ全ク之ヲ禁止スルヲ得ン何トナレハ之レ泰山ヲ狹ンテ北海ヲ越ユル者ニ非
ザレハナリ然レトモ之レ出入相補ハズシテ財政上ニ於テ允サ、ル所ナリ而シテ今假リニ一歩
ヲ讓リテ政府ハ有限ノ官吏ヲ以テ尙ホ能ク自家用料酒ヲ嚴禁スルヲ得トスルモ尙ホ一ノ反
對アリ何トナレハ自家用料酒ヲ禁止スルハ不法ナレハナリ酒屋へ三里豆腐屋へ五里ナル山間
僻地ニ在リテ自家耕耘ノ結果タル甘薯或ハ黍ノ如キヲ原料トシ酒類ヲ釀造シ之ヲ飲用スルハ
之レ彼等ノ祖先傳來ノ習慣タルノミナラズ其ノ奪フ可カラサルノ權利ナリ然ルニ今ヤ代議政
治ナル美名ノ下ニ其權利ヲ侵害シ必ズマ高税ヲ拂フテ強イテ酒類ヲ購買セシメ純朴ノ民ヲ驅
リテ罪ヲ犯サシメントス之レ實ニ不法ナル所爲ナリト斷言スルヲ憚ラサル所ナリ

府ハ有限ノ官吏ヲ使用シテ如何ゾ之ヲ嚴禁スルヲ得ンヤ然カモ若シ多數ノ官吏ヲ使役シテ之ヲ取締ラハ或ハ全ク之ヲ禁止スルヲ得ン何トナレハ之レ泰山ヲ狹ンテ北海ヲ越ユル者ニ非ザレハナリ然レトモ之レ出入相補ハズシテ財政上ニ於テ允サ、ル所ナリ而シテ今假リニ一步ヲ讓リテ政府ハ有限ノ官吏ヲ以テ尙ホ能ク自家用料酒ヲ嚴禁スルヲ得トスルモ尙ホ一ノ反對アリ何トナレハ自家用料酒ヲ禁止スルハ不法ナレハナリ酒屋へ三里豆腐屋へ五里ナル山間僻地ニ在リテ自家耕耘ノ結果タル甘薯或ハ黍ノ如キ原料トシ酒類ヲ釀造シ之ヲ飲用スルハ之レ彼等ノ祖先傳來ノ習慣タルノミナラズ其ノ奪フ可カラサルノ權利ナリ然ルニ今ヤ代議政治ナル美名ノ下ニ其權利ヲ侵害シ必ズヤ高稅ヲ拂フテ強イテ酒類ヲ購買セシメ純朴ノ民ヲ驅リテ罪ヲ犯サシメントス之レ實ニ不法ナル所爲ナリト斷言スルヲ憚ラサル所ナリ

(三)民ヲ誘フテ罪ヲ犯サシム 一種ノ課稅物件ニ法外ナル高稅ヲ課スル時ハ必ズ脫稅ヲ獎勵スルノ結果ヲ生セサルヲ得ズ今酒稅ヲ增加シテ一石拾圓トナスハ之レ酒類ニ法外ナル高稅ヲ課スルモノナリ故ニ其結果ハ必ズ脫稅ヲ獎勵ス何トナレハ十石ヲ脫スレハ百圓ノ利益アリ百石ヲ脫スレハ千圓ノ利益アリ實ニ危險ヲ冒スニ足ルノ價值アレハナリ而シテ政府ハ今日ノ有限ノ官吏ヲ使役シテ能ク之ヲ取締リ得ルノ見込ナラント雖トモソハ實際ヲ知ラサル机上ノ空論ノミ故ニ其危險ヲ冒スモノハ則チ利益シ正業者ハ則チ不利益ヲ蒙ルコトナルナリ此ニ於テカ共ニ相率イテ危險ヲ冒ス者ヲ生セン之レ實ニ民ヲ誘フテ罪ヲ犯サシムル者ニアラスシテ何ソヤ嗚呼之レ抑モ賢明ナル政府ノ採ル可キ政策ナルカ

第三 貿易上

(一)「アル、コ、ール」ノ輸入ヲ獎勵ス 政府ハ明治二十六年特ニ酒精營業稅法ヲ設ケ一石ニツキ貳拾五圓ノ高稅ヲ納付セシムルコト、セリ之レ實ニ其輸入ヲ防キ以テ内地ノ清酒釀造者ヲ保護シ間接ニ國家ノ歲入ヲ增加セントノ趣旨ニ基ケル者ナリシナリ然ルニ爾來其輸入高ハ決シテ減少セサルノミナラズ昨年來ハ酒稅增加ノ爲メ噸ニ其輸入高ヲ增加セリ之レ皆内地ニ於テ奸商ガ混成酒ヲ密造スルノ用ニ供シタルモノナリ而シテ改正關稅法コテハ「アル、コ、ール」ハ從價稅四割ヲ課セラル、コトナレリ故ニ之ヲ今日ノ市價ニヨリテ算スル片ハ一石ノ「アル、コ、ール」ハ三拾圓内外ニテ取引セラル、コトナルヘシ即チ日本清酒ト全市價トナルコトナリ此時ニ當リテ商人タル者如何ゾ之ヲ以テ混成酒ヲ密造セサルヲ得ンヤ否公然政府ノ免許ヲ得テ混成酒稅法ニ從フモ尙他ノ醇酒ヲ釀造販賣スル者ヨリモ多クノ利益ヲ占メ得ラル、ニアラスヤ故ニ清酒製造者ハ其製造石數ヲ減シ混成酒トシテ利益ヲ博スルノ方法ヲ採ルニ至ル可キナリ之レ政府ノ豫想ニ反スルモノニシテ政府ノ收入ハ減セサルヲ得ス

(二)日本酒ノ輸出ヲ妨害ス 近年ニ至リ日本酒ノ輸入ヲ防カンガ爲メニ高率ノ輸入稅ヲ課セントスルノ邦國少カラズ此時ニ當リ一石拾圓ノ高稅ヲ課セントスルハ之レ其輸出ヲ妨害スルモノナリ政府ハ常ニ重要產物ノ輸出ヲ獎勵保護スト揚言スルモ斯ノ如キ財政策ヲ採ラントスルハ之レ則チ其言ヲ食ムモノナリ

第四 他物價トノ關係上

(一)物價下落ノ大勢ニ反ス 世ノ酒稅增加ニ賛成スル人ノ論スル所ヲ聞クニ曰ク日本酒ハ今日ノ市價以上ノ價格ヲ有ス故ニ之ニ重稅ヲ課シ多少其市價ヲ高ムルモ其販路ヲ縮小スルノ恐アルコトナシ曩ニ增稅シタルモ其造石數ヲ減セサリシハ其好例証ナリト嗚呼何ンゾ夫レ一ヲ知リテ他ヲ知ラサルノ甚シキヤ價格ノ多少ハ之レヲ市場ニ云フ可キニアラズ何トナレバ市價ノ高下ハ經濟上動ス可カラサルノ原則アレハナリ故ニ價格論ハ以テ重稅說ヲ保護ス可カラス而シテ曩キニ增稅セラレタルモ尙能ク之ニ耐ヘタルモノハ一般ノ物價騰貴ノ場合タリシヲ以テノミ一般ノ騰貴ト共ニ酒價モ騰貴シタリ故ニ之ヲ飲用スル者之ヲ感スルコト少カリシナリ然ルニ今ヤ幣制改革ノ爲メニ物價ハ一般ニ下落ノ大勢ニ向ヘリ然ルニ單ニ酒類ハ之ノ大勢ニ反シテ其市價ヲ高メサルヲ得ストセハ必ズヤ其需用ヲ減セサルヲ得サルナリ

政府及代議士諸君ガ從來ノ處置ニ察スルニ常ニ地主ヲ其眼中ニ置キ之ヲ保護シ之ヲ利益スルヲ以テ其目的トセラレタルガ如シ殊ニ明年ハ衆議院議員ノ改撰期ナリ故ニ政府及ヒ代議士諸君ハ其選舉區民ノ歡心ヲ失フヲ恐レテ地租ヲ增加スルノ論ヲ唱フルヲ憚リ百方策ヲ求メテ得ズ終ニ酒稅ヲ增加スルニ左祖セラレタルガ如シ然レトモ何ゾ知ラン酒稅ヲ增加スルハ全般ノ蒼生特ニ勞働者ヲ壓セントスルモノ即チ少數ノ歡心ヲ得ントシテ多數ノ不滿ヲ買フモノナリ斯ノ如キハ何ゾ之ヲ以テ策ノ得タル者ナリト云フヲ得ンヤ

以上聊カ余輩微意ノ存スル所ヲ述ヘタリ余輩豈敢テ辨チ好マンヤ豈敢テ當業者タルノ故チ以

ルコール」ハ從價稅四割ヲ課セラル、トナレリ故ニ之ヲ今日ノ市價ニヨリテ算スルハ一石ノ「アルコール」ハ三拾圓内外ニテ取引セラル、トナルヘシ即チ日本清酒ト全市價トナルナリ此時ニ當リテ商人タル者如何ゾ之ヲ以テ混成酒ヲ密造セサルヲ得ンヤ否公然政府ノ免許ヲ得テ混成酒稅法ニ從フモ尙他ノ醇酒ヲ釀造販賣スル者ヨリモ多クノ利益ヲ占メ得ラル、ニアラスヤ故ニ清酒製造者ハ其製造石數ヲ減シ混成酒トシテ利益ヲ博スルノ方法ヲ探ルニ至ル可キナリ之レ政府ノ豫想ニ反スルモノニシテ政府ノ收入ハ減セサルヲ得ス

(二) 日本酒ノ輸出ヲ妨害ス

近年ニ至リ日本酒ノ輸入ヲ防カンガ爲メニ高率ノ輸入稅ヲ課セントスルノ邦國少カラズ此時ニ當リ一石拾圓ノ高稅ヲ課セントスルハ之レ其輸出ヲ妨害スルモノナリ政府ハ常ニ重要產物ノ輸出ヲ獎勵保護スト揚言スルモ斯ノ如キ財政策ヲ採ラントスルハ之レ則チ其言ヲ食ムモノナリ

第 四 他物價トノ關係上

(一) 物價下落ノ大勢ニ反ス

世ノ酒稅增加ニ賛成スル人ノ論スル所ヲ聞クニ曰ク日本酒ハ今日ノ市價以上ノ價格ヲ有ス故ニ之ニ重稅ヲ課シ多少其市價ヲ高ムルモ其販路ヲ縮小スルノ恐アルコトナシ曩ニ增稅シタルモ其造石數ヲ減セサリシハ其好例証ナリト嗚呼何ンゾ夫レ一チ知リテ他チ知ラサルノ甚シキヤ價格ノ多少ハ之レヲ市場ニ云フ可キニアラズ何トナレバ市價ノ高下ハ經濟上動ス可カラサルノ原則アレハナリ故ニ價格論ハ以テ重稅說ヲ保護ス可カラス而シテ曩キニ增稅セラレタルモ尙能ク之ニ耐ヘタルモノハ一般ノ物價騰貴ノ場合タリシヲ以テノミ一般ノ騰貴ト共ニ酒價モ騰貴シタリ故ニ之ヲ飲用スル者之ヲ感スルコト少カリシナリ然ルニ今ヤ幣制改革ノ爲メニ物價ハ一般ニ下落ノ大勢ニ向ヘリ然ルニ單ニ酒類ハ之ノ大勢ニ反シテ其市價ヲ高メサルヲ得ストセハ必ズヤ其需用ヲ減セサルヲ得サルナリ

政府及代議士諸君ガ從來ノ處置ニ察スルニ常ニ地主ヲ其眼中ニ置キ之ヲ保護シ之ヲ利益スルヲ以テ其目的トセラレタルガ如シ殊ニ明年ハ衆議院議員ノ改選期ナリ故ニ政府及ヒ代議士諸君ハ其撰舉區民ノ歡心ヲ失フヲ恐レテ地租ヲ增加スルノ論ヲ唱フルヲ憚リ百方策ヲ求メテ得ズ終ニ酒稅ヲ增加スルニ左祖セラレタルガ如シ然レトモ何ゾ知ラン酒稅ヲ增加スルハ全般ノ蒼生特ニ勞働者ヲ壓セントスルモノ即チ少數ノ歡心ヲ得ントシテ多數ノ不滿ヲ買フモノナリ斯ノ如キハ何ゾ之ヲ以テ策ノ得タル者ナリト云フヲ得ンヤ

明治三十年十月一日

岡山縣後月郡酒造組合總代

- 笠原文吾
- 佐藤延一郎
- 瀧本森平
- 妹尾邦太郎
- 鳥越兎治郎
- 高木庫二
- 津島陳四郎
- 難波甚作
- 福田新次郎
- 枝木定九郎

全縣小田淺口二郡酒造組合總代

殿

備中柳本活版所印刷